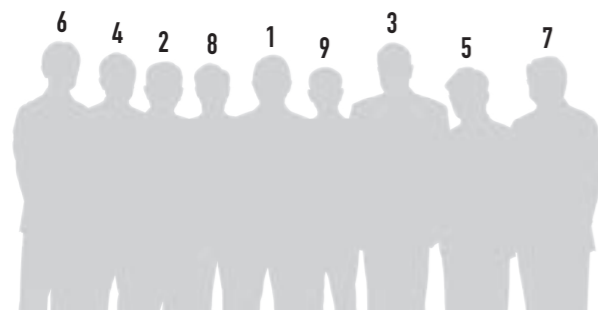


役員一覧



CONTENTS

- 目次／編集方針／役員一覧…………… 01
- トップメッセージ／企業理念 …………… 03
- 私たちが大切にしてきたもの …………… 05
- 私たちが提供する価値…………… 07
- 会社概要／連結決算ハイライト …………… 09
- 事業部紹介…………… 10
- 研究開発部門紹介…………… 14
- 社会性報告 CSRとマネジメント …………… 15
- 社会性報告 お客様とのかかわり …………… 19
- 社会性報告 地域社会とのかかわり …………… 23
- 環境性報告 環境マネジメント …………… 25
- 大日精化グループネットワーク …………… 30



- 1** 代表取締役社長
高橋 弘二
- 2** 代表取締役専務
中村 一男
生産機構総括
推進機構総括
総務・人事部、
広報本部、
購買本部、
海外事業本部、
CSR・リスク管理推進本部担当
- 3** 代表取締役常務
中條 建吾
事業機構総括
コート材事業部、
オフセットインキ事業部、
グラビアインキ事業部、
ファインポリマー事業部、
ケミカルバイオ事業部担当
- 4** 取締役
榊原 俊哉
推進機構担当
事業管理本部、
経理・財務本部、
情報システム本部担当
最高財務責任者
- 5** 取締役
齋藤 修
生産機構担当
各製造事業所
施設・設備本部担当
- 6** 取締役
多田 和資
事業機構担当
顔料事業部、
化成品事業部、
合樹・着材第1事業部、
合樹・着材第2事業部担当
- 7** 取締役
小城 義尚
技術機構総括
技術管理本部、
基幹技術本部、
事業開発本部担当
- 8** 社外取締役
瀧野 裕之
- 9** 社外取締役
山田 恒太郎

編集方針

当社では2005年度から「環境報告書」を、2010年度から「社会・環境報告書」を発行してきました。2013年度からは事業案内の要素を取り入れた「コーポレートレポート」として活動内容を報告しています。

本レポートは当社の社会・環境方針の考え方や実績を、お客様・地域社会の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様にご覧頂けるよう作成しています。

- **報告対象範囲**
大日精化グループ
環境マネジメントシステムは本社及び各事業所、パフォーマンスデータは国内生産・サービス拠点 15ヶ所の実績を掲載しています。
- **報告対象期間**
2015年4月1日～2016年3月31日
※ただし、一部事柄については、本対象期間外の活動も含まれます。
- **参考ガイドライン**
環境省「環境報告書ガイドライン 2012年度版」

社会の期待に応え、 社会と共存していく CSR経営を進めていきます。

平成28年熊本地震で被災された皆さま、ご家族ならびに関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈りしております。

大日精化グループも熊本県に拠点をもち、事業活動を行っています。自宅が損壊するなどの被害を受けた社員がいたものの、幸いにも大きなけがはありませんでした。度々の余震にもめげず、復旧作業に尽力するその姿に大きな感動を覚えました。熊本事業所での地域交流活動の一端を今レポートに掲載していますので、ご高覧ください。



代表取締役社長

高橋弘二

経営方針について

当面の事業運営は「グローバル化」「環境対応」「収益向上」を基本に、企業活動を通じて社会に貢献するCSR経営を目指しています。

グローバル化については、海外売上高比率を50%とするための海外拠点の整備及び生産能力増強などの積極投資を継続していきます。また、業務の標準化による合理化の推進とグローバル展開する企業としてのガバナンスをさらに強化していきます。

国内市場に対しては、環境対応製品の開発とともに、成長市場に合致した製品あるいは差別化製品に比重を移し、経営体質を強化します。

今年度も経営指標として掲げております連結ROA 5%以上を達成するべく、総資産の効率的な運用を行い、あわせて経常利益を高め、財務体質の改善・強化に継続的に取り組んでいく所存です。

コーポレートレポート発刊に際して

大日精化グループをさらにご理解いただくために、2016年4月にWebサイトをリニューアルしました。皆様には今レポートとあわせてご高覧いただき、忌憚のないご意見を賜りたいと思っています。

新しい企業理念と行動指針を浸透させ、CSRへの取り組みを強化し、皆様から信頼される企業を目指して、さらに努力・挑戦を続けていきます。今後とも、ご支援を賜りますよう、お願いいたします。

2016年10月

企業理念

2016年1月改定

- 人に興味を持つ
- 新しいことに興味を持つ
- 未来に興味を持つ

行動指針

- 人間は面白い。
その面白い人間が作っているのが企業であり、また顧客です。全ての経済原則、経営理論は、人の行動原理に基本があります。人に興味を持つ。
- 新しいことはワクワクする。
技術革新や商品開発は顧客や市場を開拓すると同時に、人間も活性化します。新しいことに興味を持つ。
- 未来を考えることは楽しい。
未来は子供たちのものです。未来を考えれば、人も企業も自分だけでは生きていけないことが分かります。顧客の発展が無ければ、当社は富んでも長続きしません。更に、社会に生かされなければ、人も企業も存続し得ません。未来に興味を持つ。

一方、当社には1968年に制定した、社是「必達」が存在します。上記の企業理念と共に、歴史ある社是「必達」を誇りを持って遵守しています。

社是

必 達

私たちはカラーエージをになう大日精化の社員として
〈必達〉の社是のもとに誇りを持って仕事をすすめよう

- 1、仕事は必ず目標を立てこれを必達しよう
- 1、正しい製品知識を身につけ製品普及のチャンスを積極的に求めよう
- 1、仕事を通じ製品を通じて会社の信用を更に高めよう
- 1、社会人として常に教養を高め反省を深める機会を持つ
- 1、仕事を通じて社会に貢献し大日精化を最高の企業体としよう